

大阪府和泉市

担当課: 生きがい健康部健康づくり推進室
健康増進担当
〒594-0071 和泉市府中町四丁目22番5号
☎0725-47-1551 FAX0725-46-6320
<http://www.city.izumi.osaka.jp/>
Eメール zousin@city.osaka-izumi.lg.jp

本市のデータ

(1)面積 84.98km²(平成25年3月末時点)

(4)産業構造

(2)人口

S50国調	H17国調	H22国調	H25.3
118,237	177,856	184,988	187,108
65歳以上人口比率(H25)			20.00%

(3)世帯数

S50国調	H17国調	H22国調	H25.3末
31,745	62,433	68,342	74,092

区分	就業人口 H22国調
1次	712人(0.9%)
2次	17,901人(23.1%)
3次	54,528人(70.4%)
分類不能	4,345人(5.6%)
計	77,486人

本市の概要

和泉市は穏やかな気候風土、清く豊かな水に恵まれた地域である。南北に細長い地形で、北部の市街地と南部の山間部に大きく分けられる。弥生時代より開け、遺跡などの文化財が数多く残されている歴史のまちで、全国でも屈指の規模を誇る弥生時代の集落跡・池上曽根遺跡がある。

特産品としては、江戸時代の“和泉木綿”以来の伝統を持つ繊維工業をはじめ、人造真珠、ガラス細工、花卉栽培などが盛んで、南部の山間部は丘陵地帯を利用した温州ミカンの栽培で知られている。

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

和泉市では「市民が自分らしくいきいきと暮らせる」健康都市いずみを目指し、H15年に健康都市いずみ21計画を策定し、その中でこころの健康づくり活動を実施していた。

しかし、一向に減少しない自殺者、国からの緊急強化基金に基づき、H22年度より本格的に自殺予防対策を実施。「和泉市自殺予防対策連絡会議」を立ち上げ、自殺を複合的な背景を持つ社会問題として、行政関連機関が、自殺問題に関する意識向上を図り、顔の見える機動的な連携を図れるネットワーク機能を構築し、効果的な施策の展開ができるよう目指している。

<具体的な取組み>

(1) 総合的な取組み

- H22年度 ○自殺予防連絡会議を3回実施。
全庁的な取組みの必要性と複合的な課題を抱える自殺問題への意識向上を目的に実施。
- H23年度 ○自殺予防連絡会議を3回実施。
現場に活かせる学習会をもちながら、機動的な連携が図れることを目的に実施。
課題や施策の検討。
- H24年度 ○自殺予防連絡会議を3回実施。
課題や施策の検討。庁内の現場の現状を把握し、お互いの役割や課題を共有。事例を通じた勉強会の実施。

(2) 普及啓発事業

- H22年度 ○ 9月 自殺予防リーフレット「話をきいて。」全戸配布。
健康まつりでの資料展示。
自殺予防週間街頭啓発キャンペーン 相談先カード配布。
- 11月 自殺予防講演会「自殺のない生き心地のよい社会へ」
講師:ライフリンク代表 清水康之氏
- 3月 自殺予防月間街頭啓発キャンペーン 相談先カード配布。
- H23年度 ○ 8月 人事課の共催にて、庁内の人権研修の一環として市全職員を対象に自殺問題についての啓発を人権研修の一環として2回実施。
- 9月 自殺予防リーフレット「守りたい。あなたとあなたの大切な人」全戸配布。
健康まつりでの資料展示。
自殺予防週間街頭啓発キャンペーン 啓発グッズや相談先のビラ配布。
- H24年度 ○ 9月 自殺予防リーフレット全戸配布。
健康まつりでの資料展示。
自殺予防週間街頭啓発キャンペーン スーパー前で啓発グッズや相談先のビラ配布。
- 10月 高齢介護室と共催にて、「うつ病予防について」高齢者やボランティアに研修を実施。
- 3月 自殺予防月間街頭啓発キャンペーン スーパー前で啓発グッズや相談先のビラ配布。
人権文化センターにて、自殺予防啓発パネルの展示。

(3) 人材育成事業

- H22年度 ○11月 自殺予防連絡会議関係部署のスタッフを中心に研修会を実施。
- H23年度 ○10月 校区社協ボランティアを対象にゲートキーパー養成講座を実施。
- 11月 男女共同参画課(自殺予防連絡会議参画メンバー)と共催にて、ボランティア電話相談員を対象に初期対応研修を実施。
- H24年度 ○11月 高齢介護室と共催にて、老人会の役員を対象に「加齢と心の病」について研修を実施。
庁内人事研修として、人事課と共催にて管理職の職員を対象に「職場のメンタルヘルスケアについて」復職支援の内容も取り入れ、研修を実施。
- 12月 社会福祉協議会と共催にて、校区ボランティアを対象に「ボランティア活動で役立つコミュニケーション」について、ロールプレイを通して実践的な研修を実施。
- 1月 高齢介護室と共催にて、街かどデイサービスのスタッフを対象に「高齢者のうつ病」について研修を実施。
- 2月 男女共同参画課(自殺予防連絡会議参画メンバー)のボランティア電話相談員を対象に「相談対応のスキルについて」研修を実施。
こども未来室と共催にて、訪問支援員を対象に「傾聴を中心とした援助的なコミュニケーション」について研修を実施。
ヘルスアップサポーター(健康づくりを広めるボランティア)を対象に、うつ予防を中心に、ストレスとのつきあい方について研修を実施。
- 3月 専門職を対象に、「自殺予防ゲートキーパー研修」を実施。

(4) 実態把握

- H22年度～ 既存データの整理、分析。庁内自殺予防連絡会議各部署へのヒアリングにて自殺問題の現状について調査。

(5) 相談会

- H24年度 ○ 3月 司法書士と臨床心理士による総相談会を実施。